

市長から 市民のみなさんへ



59

山陽小野田市長 白井 博文

第2回「山陽小野田市民まつり」が 開催されます。

2, 3ページにありますように、いよいよ、第2回「山陽小野田市民まつり」が間近に迫ってきました。10月27日に、前号の広報で特集した埴生漁港での「お祝い夢花火」で開幕し、翌日の本祭は、会場を江汐公園に移しての開催となります。

市の行事に関心が薄くなりがちな若者層が多く参加し、活気のあるお祭りになるような“仕掛け”を期待して、数々のイベントを成功させている、両商工会議所青年部、小野田青年会議所に企画、運営をお願いしました。協賛金、寄付金を募らず、市の助成金のみの中で、市内小・中学生の全クラス参加による「日本一の横断幕」づくり、広い園内を利用した「日本一の宝探し」など、趣向をこらした盛りだくさんのイベントを用意していただきました。「まつりに参加したい」「まつりを盛り上げたい」という多くの方々の積極的な参加により、市民の一体感の醸成も図る場にもなるのではと、今から祭り当日が楽しみでなりません。多くの方のご来場をお待ちしています。

市営住宅への暴力団員の入居を 制限する条例ができました。

今年に入って、暴力団関係者による凶悪事件が連続して発生し、国をあげての暴力団排除に向けた取り組みがはじまりました。公営住宅を管理する国土交通省からは、公営住宅における暴力団員の入居を制限するようとの通達があり、いち早く、県では8月から暴力団員の入居の制限を実施しています。県営住宅と市営住宅が混在する地区が多くある本市

においても、県の対応に遅れることなく、入居者の不安を早く取り除く必要があると考え、9月議会で関連の議案を上程し、議会の承認をいただいたところです。

今回の条例は、県下の他の自治体に先駆けての制定となりました。「安全、安心のまちづくり」の一環として、“暴力団との共存はありえない”という市としての姿勢を対外的に強くアピールすることも出来たのではないかと思います。

行政改革大綱・アクションプラン について意見をお寄せください。

スリムで効率的な行政運営の実現を目指し、1年がかりで取り組んできた「行政改革大綱・アクションプラン」の原案が完成し、市民のみなさんから意見をおうかがいする段階となりました。

しかしながら、市民のみなさんにはまだまだなじみの薄いものではないかと思われたので、実際にどのようなものか、その一部を7ページに具体例をあげて掲載しています。(全文は市内の各施設、あるいはホームページからご覧になれます。)特に、とかく“マンネリ化”に陥りやすい市役所の業務について、70項目にわけて、見直しを行い、期限を決めて明文化した「アクションプラン」はこれから市役所が、全庁あげて改革に取り組んでいく上での“行動目標”を定めた、たいへん重要な計画です。興味のある方は、ぜひとも、ご覧になって、ご意見をお寄せいただきたいと思います。

対話の日

【いずれの会場も19:00から】



10月23日(火) 叶松第一自治会館

11月14日(水) 袖尻公会堂

11月29日(木) 梅田自治会館

※山陽地区は河合病院事業管理者が同席します。